

会社の概要 (2013年10月1日現在)

商号 株式会社ティーツー
 英訳名 TAY TWO CO.,LTD.
 店舗名 古本市場、ブック・スクウェア、TSUTAYA、3Bee、
 トレカパーク、Family Mart
 創業 1989年10月
 設立 1990年4月
 本社 岡山県岡山市北区今村650番111
 TEL (086) 243-8600
 東京本部 東京都品川区西五反田七丁目1番1号
 住友五反田ビル5F・6F
 TEL (03) 5719-4580
 代表者 代表取締役社長 堀 久志
 資本金 1,165,507千円
 従業員数 362名 パート・アルバイト1,192名
主な事業内容
 古本、TVゲームソフト・ハード、トレーディングカード、CD、
 DVD等の販売・買取
 CD、DVD等のレンタル業務
 Family Mart (コンビニエンスストア) の運営

役員 (2013年10月1日現在)

代表取締役社長 堀 久志 取締役(社外) 鍋 嶋 智 紀
 取締役 荒 井 薫 常勤監査役(社外) 武 田 由 隆
 取締役 寺 田 勝 宏 監査役(社外) 平 田 修
 取締役 藤 巻 淳 一 監査役(社外) 小 松 泰 夫
 取締役(社外) 大 谷 真 樹 監査役(社外) 近 藤 麻 紀

大株主 (2013年8月31日現在)

株主名	持株数	出資比率
株式会社ワイ・エイ・ケイ・コーポレーション	110,637 株	21.9 %
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	77,601	15.4
株式会社山陰合同銀行	21,000	4.2
ティーツー従業員持株会	17,579	3.5
株式会社みずほ銀行	10,000	2.0
東京海上日動火災保険株式会社	10,000	2.0
株式会社トマト銀行	8,000	1.6
株式会社中国銀行	8,000	1.6
株式会社アイシーピー	7,300	1.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,000	1.4

(注) 当社は自己株式21,385株を所有しておりますが、上記には表記しておりません。
 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

ホームページのご案内

当社のホームページで最新情報を発信しております。
 ぜひ併せてご覧ください。

● トップページ



<http://www.tay2.co.jp/>

● IR情報

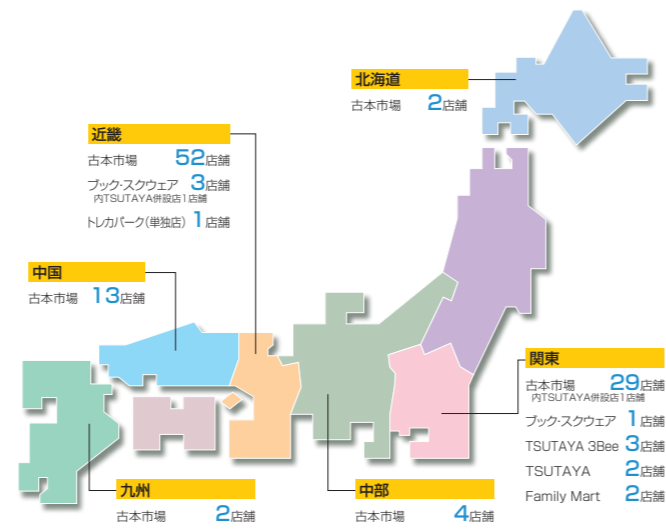


<http://www.tay2.co.jp/ir/index.html>

ティーツー

検索

店舗一覧 (2013年10月1日現在)

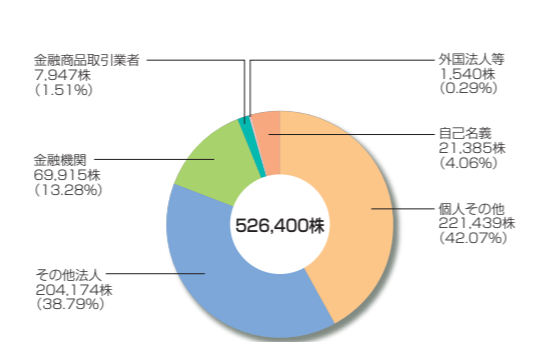


※各店舗の詳細につきましては、下記のURLをご参照ください。
<http://www.furu1.net/index.html>

株式の状況 (2013年8月31日現在)

■ 発行可能株式総数 2,000,000株
 ■ 発行済株式の総数 526,400株
 ■ 株主数 5,727名

所有者別株式分布状況 (2013年8月31日現在)



株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 基準日 定時株主総会 2月末日
 期末配当金 2月末日
 中間配当金 8月末日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
 公告方法 電子公告により行います。
 ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081)
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711
 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 (郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-782-031



株主の皆様へ

第24期中間報告書

(2013年3月1日～2013年8月31日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、当社は2014年2月期中間決算を終えましたので、その概要をご報告申し上げます。
 当社グループが属する業界におきましては、家庭用ゲームからソーシャルゲームへのシフト、新刊書籍・コミック誌の発行部数減少、電子書籍化等、主要商材に係る市場が大きな変容期に差し掛かるなど外部環境の厳しさが増しており、既存事業の採算維持及び新規商材・新規事業の開拓の両面にわたり、今後一層の経営努力が求められております。

このような経営環境の下、当上半期においては、子会社であるカードフレックスジャパン株式会社を連結対象範囲に加えたことに伴い、事業開始に向けた先行費用を引き続き計上したほか、連結子会社であるTWO-BASE株式会社が2013年10月1日を譲渡日としてペットサプリメント事業を譲渡し、事業撤退に伴う費用を一括計上したことが収益面で影響いたしました。

営業面においては、商品のデジタル化やスマートフォン市場の拡大に影響を受けない「データに置き換わらない」商材を積極的に取り入れ、リアル店舗の価値を高めることを喫緊の課題と位置づけ注力しております。このような中で、今後も成長が期待されるトレーディングカードにつきましては、自社ブランド「トレカパーク」コーナーの展開を推進し、今後、ゲーム・古本に続く第3の柱となりうるトレーディングカードの拡販体制を重点的に整備してまいりました。

下半期につきましては、新品ゲームソフトの有力タイトルの発売が見込まれること、また前期から取り組んでいる各種事業戦略、コスト構造の見直し等の仕込みが収益に貢献する見通しであります。

今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

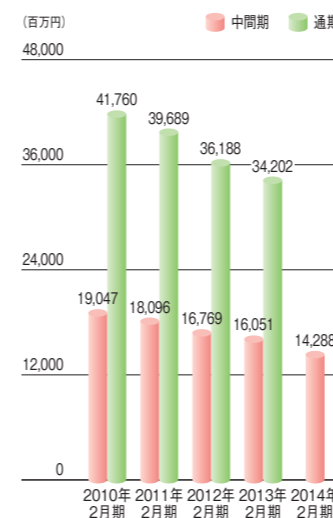
株式会社ティーツー



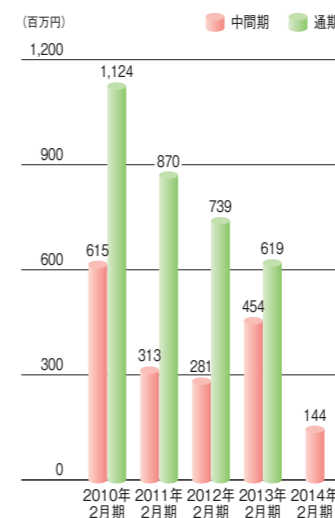
代表取締役社長
堀 久志

財務ハイライト(連結)

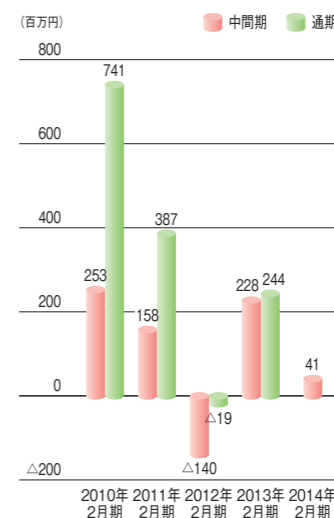
●売上高



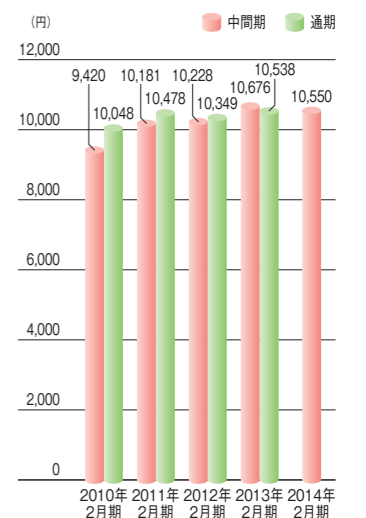
●経常利益



●中間(当期)純利益



●1株当たり純資産



※2012年2月期及び2013年2月中間期は個別数値となります。

財務諸表

●損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前中間期 (2012年3月1日から 2012年8月31日まで)	当中間期 (2013年3月1日から 2013年8月31日まで)
売上高	—	14,288
売上総利益	—	4,175
販売費及び一般管理費	—	4,030
営業利益	—	144
営業外収益	—	61
営業外費用	—	61
経常利益	—	144
特別損失	—	17
税金等調整前四半期純利益	—	126
法人税等	—	85
四半期純利益	—	41
1株当たり四半期純利益	—円/株	0.81円/株

※1 前中間期は連結財務諸表の作成を行っていないため、連結の数値は記載しておりません。

※2 当社は、2013年9月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。当期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

損益計算書のポイント

売上については、前期より重点施策として取り組んでいるトレーディングカードやレンタル事業等は好調に推移いたしました。新品ゲームの有力タイトルの発売が前期に比較して少なかったことから、新品ゲーム及び中古ゲームの売上が低調に推移、加えて古本等既存の中古商材の売上も低迷いたしました。

経費面では店舗の業務効率化を中心としたコスト構造の見直しにより、固定費を中心に販売管理費の削減をいたしました。

しかしながら、売上高減少に伴う売上総利益の減少分を販売管理費削減額で補うことができず、また新たに連結対象とした子会社の営業損失が影響し、営業利益は1億4,400万円となりました。

●貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	前期 (2013年2月28日現在)	当中間期 (2013年8月31日現在)	増減
流動資産	7,821	7,493	△328
現金及び預金	2,655	2,710	54
商品	4,264	3,881	△382
その他	901	901	△0
固定資産	4,328	4,140	△187
有形固定資産	1,540	1,451	△88
無形固定資産	307	279	△27
投資その他の資産	2,480	2,408	△71
総資産	12,149	11,633	△515
負債	6,711	6,303	△408
流動負債	3,304	2,746	△558
固定負債	3,406	3,557	150
純資産	5,438	5,330	△107
負債純資産合計	12,149	11,633	△515

貸借対照表のポイント

総資産に関しては、当上半期に有力なゲームソフトの発売が無かったため、仕入れの減少により商品が減少しております。

負債に関しては、借入金の返済及び新規借入れにより、短期借入金が4億5,000万円減少、長期借入金が5億6,400万円増加しております。

そのほか、商品仕入れの減少による買掛金2億6,400万円の減少、役員退職慰労金制度廃止に伴う引当金1億4,400万円の減少により、負債は4億800万円減少しております。

純資産に関しては、当上半期の純利益が4,100万円の計上にとどまった一方で、配当金の支払いを5,600万円行ったことにより利益剰余金が減少いたしました。

また、自己株式を8,700万円取得したことにより、純資産は1億700万円の減少となりました。

●キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (2013年3月1日から 2013年8月31日まで)
営業キャッシュ・フロー	228
投資キャッシュ・フロー	△91
財務キャッシュ・フロー	△100
現金及び現金同等物の増減額	35
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,626

キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業キャッシュ・フローについては、仕入れ債務は減少したものの、棚卸資産の減少により2億2,800万円のプラスとなりました。

店舗改装及び新規出店等により、投資キャッシュ・フローは9,100万円のマイナス、借入金の返済や自己株式の取得、配当金の支払い等により財務キャッシュ・フローは1億円のマイナスとなりましたが、現金及び現金同等物残高は増加しております。

Topics 1

トピックス

新規事業については、不採算事業からの撤退と成功可能性の高い事業への集中投資を行っております。

■プリペイドカード事業

事業スタートに必要な財務基盤構築のため、2013年5月にカードフレックスジャパン株式会社へ3億円の増資を行いました。サービス開始に向けて最終調整中であります。

■ペットサプリメント事業

2013年10月1日をもって、TWO-BASE株式会社で行ってまいりましたペットサプリメント事業を、岡山県のパーリントン動物薬株式会社へ譲渡いたしました。

2012年4月より、消費者参加型マーケティングによって自社開発したペット用サプリメントの販売を行ってまいりましたが、ECサイトでの売上不振やペット用商品販売店等への拡販が思うように進捗せず、業績は低調に推移していたことから、当該事業から撤退することといたしました。

■ゲーム情報サイト

当社持分法適用関連会社である株式会社キツギが運営してまいりましたゲーム情報サイトを2013年10月で終了することといたしました。

ゲームに対する興味関心を醸成するため「げむたま」及び「げむココ」という2つのサイトを構築し、月間36万人が訪問するサイトにまで成長いたしました。情報提供が購買に影響を与えるほどには成長せず、早期にECビジネス拡大にはつながらないと判断し、当該サイトを閉鎖することといたしました。

Topics 2

トピックス

前期に行った取り扱い商材の見直し、新規商材の投入によって効果の高かった施策を加速させ、地域、顧客のニーズに応じた店舗構築を進めてまいりました。

■新規出店

2013年3月に自社のトレーディングカードノウハウを一層向上させるため、同事業者が密集する大阪日本橋にトレーディングカード専門店「トレカパーク日本橋店」を出店いたしました。

加えて、2013年6月に新刊書籍を主としたパッケージ店舗である「ブック・スクウェア ザ・マーケットプレイス東大和店」を東京都東大和市に出店し、地域のお客様のニーズに対応した出店も実施いたしました。

■既存店

前期に引き続き、トレーディングカード売場を拡大する改装を実施し、自社ブランド「トレカパーク」コーナーの展開を推進してまいりました。当上半期の導入店舗は23店舗（トレカパーク店舗：累計43店舗）となりました。



トレカパーク日本橋店



ブック・スクウェア ザ・マーケットプレイス東大和店 外観



ブック・スクウェア ザ・マーケットプレイス東大和店 店内